

みんなで作るみんなの郵便局「丸山郵便局」が「ウッドデザイン賞2022」を受賞

日本郵政株式会社（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 増田 寛也）および日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 衣川 和秀）が、環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の第1号店舗として開局した丸山郵便局（千葉県南房総市）について、この度、ソーシャルデザイン部門でウッドデザイン賞2022（主催：（一社）日本ウッドデザイン協会）を受賞しましたのでお知らせします。

丸山郵便局は、「みんなで作るみんなの郵便局」という設計コンセプトのもと、局舎の屋根や壁の一部などにCLTを使用して建設した木造郵便局で、環境に配慮した郵便局（「+エコ郵便局」）の全国第1号店舗です。

局舎外壁には、日本の伝統的な外壁材である「焼杉材」を使用しました。この焼杉材は、地元の子どもたちと一緒に「焼杉製作ワークショップ」で焼き上げたもので、千葉県産の杉板を使用しています。

また、局舎内部の筆記台やお客さまベンチなどにもCLTを使用しており、建物の内外ともに木を感じられる郵便局となっています。

日本郵政グループは、今後も郵便局ネットワークを活用した地域のカーボンニュートラル化について、推進してまいります。



※ウッドデザイン賞とは

木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。

「ソーシャルデザイン部門」は、木を使って森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象で、持続可能な森林管理、地域経済循環率の向上に寄与する木材利用や、ストーリー性の付与や関わりの創出等で木材利用の高付加価値化に寄与する建築・空間、技術、木製品、取組、研究などを評価するものです。

※ CLT：クロス・ラミネイティッド・ティンバー

長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度や断熱性に優れており、コンクリートや鉄に比べてCO<sub>2</sub>の発生を抑制。